

## 島根県立石見美術館

### コレクション展「デュフィとポワレ」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「デュフィとポワレ」を下記のとおり開催いたします。

記

#### 1. 会 期 平成 31 年 3 月 8 日 (金) ~4 月 22 日 (月)

休 館 日：毎週火曜日

開館時間：10:00~18:30 (展示室への入場は 18:00 まで)

#### 2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室 C (グラントワ内)

#### 3. 概 要

1900 年代後半から 1920 年代にかけてパリで活躍したファッション・デザイナー、ポール・ポワレは数多くのアーティストとコラボレーションし、自身のブランドイメージを高級で華やかなものへと作り上げました。中でも画家のラウル・デュフィとのコラボレーションは、よく知られています。ポワレの依頼でテキスタイル・デザインの仕事を始めたデュフィは、布の織りや染め、プリントの技法研究に熱心に取り組むなどし、その世界に傾倒していきました。やがて大手織物会社から声がかかり、ポワレのためという目的を超えて、自身の作品として布を制作するようになります。テキスタイル・デザインの仕事は、デュフィの「本来の」仕事である絵画制作にも影響を与え、装飾的でありながら軽やかさのある独自の作風の確立へと、デュフィを向かわせました。

本展ではデュフィとポワレの作品を特集展示し、アール・デコ期のフランスに花開いた二つの才能のコラボレーションを版画やテキスタイル、衣装などを通してご覧いただきます。

#### 4. 展示作品 ポワレの衣装、ポール・ポワレの衣装が紹介された版画、デュフィのテキスタイル・デザイン画、デュフィの木版、デュフィデザインのテキスタイルなど、合計 60 点 (予定)



1



2

いずれも島根県立石見美術館蔵

1：ラウル・デュフィ《ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「園芸」》1923 年頃

2：ポール・ポワレ《デイ・ドレス》1925 年 テキスタイルはラウル・デュフィによる「ドゥーヴィル・またはレガッタ」

別途、民間の配信サービスを利用し情報発信する予定です。